



おぐに議会だより

第37号

令和2年2月10日

- 令和元年 第4回定例会
- 地熱発電開発に関する請願書
- 町政を問う(一般質問)

令和元年第4回定例会 令和元年12月10日～12月13日

12月10日から13日、第4回定例会が開催され、条例改正・補正予算等が審議されました。

【 条 例 等 】

- 議案第40号 小国町一般職の職員の給与に関する条例及び小国町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例
 - ・・・人事院等の給与等に関する勧告に鑑み、職員の給与表及び手当の乗率を改正する
- 議案第41号 小国町フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例
 - ・・・地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する事項を定めた条例を制定する
- 議案第42号 小国町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例
 - ・・・地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する事項を定めた条例を制定する
- 議案第43号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
 - ・・・地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、新設される会計年度任用職員に関する各種条例の改正を行う
- 議案第44号 小国町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
 - ・・・災害弔慰金の支給等に関する法律等の一部改正に伴い、災害援護資金の貸付利率、保証人、償還方法等の改正を行う
- 議案第45号 小国町印鑑条例の一部を改正する条例
 - ・・・住民基本台帳法施行令等の一部改正及び成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、登録資格、登録印鑑の規制等について改正を行う
- 議案第46号 町道路線の認定
 - ・・・県道北里宮原線単県道路改良工事に伴い、旧県道部分を町道として引継ぐため町道路線の認定を行う
- 議案第47号 熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更
 - ・・・一部事務組合の共同処理する事務を変更し、規約を変更しようとするときは、地方自治法の規定により構成市町村議会の議決を経る必要がある

【 予 算 】

- 議案第48号 一般会計補正予算(第4号) 1億4,169万円追加し55億3,957万円に。
 - ・・・財政調整基金積立金、地域介護福祉空間整備等施設整備補助金、小・中学校修繕費など
- 議案第49号 介護保険特別会計補正予算(第2号) 634万円追加し11億9,050万円に。
 - ・・・地域支援事業交付金及び財政調整交付金の返還金など
- 議案第50号 農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 600万円追加し1億4,770万円に。
 - ・・・黒淵浄化槽スクリーンユニット交換及び田原秋原制御盤等修繕

地熱発電開発に関する請願書

11月26日（火）に小国郷の自然を守る会から、地熱発電開発に関する請願書が提出された。（紹介議員は児玉、西田）

請願書の主な内容は以下の通り。

我々は議会に対して以下の行政処分、並びに条例の増補、改訂を可及的早期に実施することをここに請願致します。

- 一、小国町地熱資源活用審議会の組織改編並びに審議の中止（6月27日審議事項を含む）
- 二、小国町地熱発電事業協会の設立（条例への増補）
- 三、小国町地熱資源開発の適正活用に関する条例第6条の罰則強化

地熱発電の請願に関する特別委員会の設置

地熱発電に関する請願書の提出を受け、小国町議会は地熱発電の請願に関する特別委員会を設置し、12月23日（月）に小国町民センターで令和元年第1回地熱発電の請願に関する特別委員会を開催した。事件として①請願に関する協議について②その他、今後の進行方法等について協議が行われた。

1月15日（水）に小国町民センターで令和2年第1回地熱発電の請願に関する特別委員会が開催され、請願者や担当課より意見聴取を行った。

尚、この特別委員会は継続的に開かれ協議される。



【人 事】

○固定資産評価審査委員会委員の選任

前任者の佐藤政久氏の任期満了に伴い、
澁谷洋典氏が選任されました。任期は3年
です。

澁谷 洋典

昭和33年3月31日生まれ
(宮原)



採決結果一覧表

(条例などの名称は一部短縮して記載しています。)

	議案番号	事件名	採決結果	時松昭弘	江藤理一郎	穴見まち子	久野達也	児玉智博	大塚英博	西田直美	松本明雄	熊谷博行
12月定例会(12月10日～13日)	議案第40号	小国町一般職の職員の給与に関する条例及び小国町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	可決	全員賛成								
	議案第41号	小国町フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	議案第42号	小国町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例	可決	○	○	○	○	×	○	×	○	○
	議案第43号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	全員賛成								
	議案第44号	小国町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	可決									
	議案第45号	小国町印鑑条例の一部改正	可決									
	議案第46号	町道路線の認定	可決									
	議案第47号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更	可決									
	議案第48号	令和元年度小国町一般会計補正予算(第4号)	可決									
	議案第49号	令和元年度小国町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決									
	議案第50号	令和元年度小国町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決									
	同意第7号	小国町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	全員賛成								
	請願第2号	地熱発電開発に関する請願	継続審査	特別委員会を設置して付託								

議会活性化、人権啓発・男女共同参画特別委員会

12月定例会会期中の12月11日、議会活性化特別委員会と人権啓発・男女共同参画特別委員会を開催しました。

第2回 議会活性化特別委員会

9月5日以来、2回目の開催となった議会活性化特別委員会では、小国町で地震や風水害などの大規模災害発生時の議会の対応を規定する規則の制定について話し合い、「小国町議会災害対応体制」の制定を決めました。町の災害対策本部が設置された場合、議長が職権で「議会対策本部」を設置する事が出来るとしており、本部長は議長が務めます。町執行部との情報共有などの連携体制の強化が目的です。

第1回 人権啓発・男女共同参画特別委員会

6月の設置以来、初めての開催となった人権啓発・男女共同参画特別委員会では、役場住民課より8月に小国町で開催された、阿蘇郡市人権同和教育研究大会の報告と「小国町男女共同参画社会づくり計画」に関する説明を聴取しました。



小国公立病院を守れ

児玉 智博

【町長】厚生労働省は小国公立など全国424の公立公的病院が統合再編の議論が必要だと名指した。病床削減への圧力をかけた形だ。小国公立は小国郷内で唯一入院の受け入れが可能な医療機関であり、地域内ここにしかない診療科目もある。公立病院の存在意義を確認するうえで、一般的に自治体病院の使命は何と認識するか。

【町長】行政機関・医療機関・介護施設等々連携し、地域に必要な医療を公平公正に提供し、住民の生命と健康を守り地域の健全な発展に貢献する事にある。

【町長】小国公立病院のあるべき将来像について、町としてどのように考えているか。

【町長】現在の外来、入院、救急医療体制を維持し、さらに地域包括ケアの充実を図っていききたい。医療、介護、福祉を病院が中心となり、医療福祉安心ネットワークや開業の先生方とともに地域包括ケアを進化させ、高齢者を最後まで小国郷でお世話で

きるような医療、介護、福祉体制の構築を目指していきたい。

【町長】小国公立病院の入院患者数は平成30年度が1万9千812人、今年度は11月末時点で1万2千935人。過去5年間で最高だった昨年度の同時期を上回る実績となっている。また救急搬送の受け入れは平成30年度363件、今年度は8月末時点で135件。住民の命の最後の砦だが、厚労省の発表に至るまでの経緯はどのようなものだったのか。

【福祉課長】各公的医療機関や自治体においても事前の情報はなく、降って湧いたような状況。

【町長】先ほど現状を維持している」と答えたが、再検証は実施する。

【町長】今後は、院長達と話して決めていきたい。



町営無料塾の実現を！

西田 直美

【町長】小国の小中校生に早急に無料塾の提供を実現したい。実現の可能性は？

【教育長】その予定はない。

【町長】町教育委員会に問い合わせて、小国町も来年度からやると聞いたが。

【教育長】それは地域学校共同活動。今年度から担当者が地域の方に学校の授業のお手伝いなどをお願いしている。

【町長】町教育大綱は「確かな学力と豊かな人間性を身につける」を目標にしている。学力を上げ、小国高校への進学者が増えることも大切。文科省の地域未来塾なら町の支出は3分の1ですむ。阿蘇郡内で町営の塾がないのは小国だけ。よそで出来ることが何故小国で出来ないのか。

【教育長】地域未来塾の青写真はまだできていない。3年前検討後に見送った経緯がある。

【町長】来年から小5から英語が教科になる。英会話の外国人講師はど

うなるのか。

【教育長】適人者がいなければ現状のまま次年度も行くことになると思う。

【西田】日本語を話せない外国人で良い。せつかく入れたタブレットも活用されていないのでは子ども達のためにならない。

【町長】町教育大綱は「確かな学力と豊かな人間性を身につける」を目標にしている。学力を上げ、小国高校への進学者が増えることも大切。文科省の地域未来塾なら町の支出は3分の1ですむ。阿蘇郡内で町営の塾がないのは小国だけ。よそで出来ることが何故小国で出来ないのか。

【情報課長】温泉と食堂を別々に指定管理するのは難しい。鍋ヶ滝は検討してみる。パンフレットはASOおぐに観光協会に相談する。

【町長】間違いなく小国の観光行は遅れている。観光協会など現場の意見を聞きながら、行政も一緒に動いていく形をとりたい。

【西田】一般質問だけでは問題解決出来ない。令和2年は各課や教育委員会に頻繁に出かけて話し合い問題解決を図りたい。



未活用の町有地には速やかな方針の決定を

江藤 理一郎

【総務課長】売却には議会の承認が必要であり、幅広く公募して一般競争入札を行う必要がある。今後使用する可能性がない土地については、議会に意見を聞きながら入札に掛けるかどうかを判断したい。悠愛の土地については平成23年から無償で貸し付けており、建物は譲渡している。売買の話は以前からあったので、これを機会に年明けからでも話を再開していきたい。

【町長】いずれは防衛策を提示したいが、まずはこれまで進めてきた移住定住の策も含めて進めて行く方針である。また、ターゲットを絞り込むということに関しては全国規模での発信も同時に広く行いながら、福岡方面への戦略も情報を厚くすることを考えたほうがよいと思われる。

【町長】気候非常事態宣言は世界の国々や自治体等の行政機関が気候変動への危機について宣言を行うことによつて、気候変動への政策立案、計画等への対応を優先的にとっているものである。小国町としても今年度中に宣言し、町民の生命、財産、生活を守るため全力で取り組みたい。

【町長】気候非常事態宣言は世界



小国町の将来に向けて

大塚 英博

【総務課長】今後の行財政のスリム化を図り、健全な財政と質の高い行政サービスを実現していくために、計画を作っている。

【町長】自然の保全と経済の循環、この二つをしっかりと保つてこそ次世代に継承できると思っている。

【政策課長】事業者から相談があつた場合、町の意向に合致して町民のためになる企業を各課と話し合いながら対応している。町の方から積極的に働きかけて行くことは今のところ考えていない。

【町長】自然の保全と経済の循環、この二つをしっかりと保つてこそ次世代に継承できると思っている。



広葉樹



「基本構想」十年後の町の姿と歩み

久野 達也

【町長】 町の総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想（十年計画）は地方自治法改正により議決要件ではなく任意策定となったが、現行の構想後に新たに策定予定はあるか。あればどのように考えているか。

【町長】 十年後の町の姿、次世代への継承といった方向性だと思う。未来に対して安心を約束する姿勢で町の総合計画やその方針を持ちたい。

【町長】 現行でも各課に所管する様々な計画があるなかで、特に多分野にもおよびSDGs（持続可能な開発目標）と基本構想とはどのように位置づけをし、リンクしているのか。

【町長】 住民の人権が尊重され、個性を大事にして自由に考え行動する中で、新たな町づくりが生まれると思っている。経済的な取り組みから自然保護や文化・教育までの総合計画の概念・概要となるのが基本ではないか。

SDGs 未来都市により地域

環境共生圏事業の可能性にも前向きに取組み、自然の保全と経済活性化による暮らしの安定と産業の創出を見だし、次世代への継承を確かなものになりたい。

【政策課長】 次期構想は令和3年度からの計画であり2年度が策定作業となる。現行の計画策定作業で総合計画審議会を設置し教育文化産業経済福祉等に各種団体懇談会及びワークショップによる意見聴取等を行っている。これらを参考に審議会や座談会・住民意見聴取・パブリックコメント等広く意見を聴取したいと思っている。

【久野】時代の流れを検証し計画のローリング等も行い、小国町の十力年を基本構想で描き、よりよい町を創り上げることを期待している。



北里柴三郎博士の広域的取り組みと農業課題

穴見 まち子

【町長】 4年後に北里柴三郎博士の千円札が発行されるにあたり、野口英世、渋沢栄一記念館、そして北里大学に視察に行ったが有意義だったと思っている。野口英世記念館を見ると、後ろで支えてくれる人がいるから、北里柴三郎博士も福沢諭吉先生らの支援があり、破傷風菌発見により世界中の子ども達から大人まで役に立っている。町長は研修をどう捉えているか。

【町長】 北里博士を官民一体となつて出来るだけ盛り上げていきたい。学びやの里と一緒に地域の課題や教育旅行の誘致などの取り組みを考えている。

【町長】 北里博士を官民一体となつて出来るだけ盛り上げていきたい。学びやの里と一緒に地域の課題や教育旅行の誘致などの取り組みを考えている。

【町長】 北里博士を官民一体となつて出来るだけ盛り上げていきたい。学びやの里と一緒に地域の課題や教育旅行の誘致などの取り組みを考えている。

【町長】 南小国町の志ヶ瀬の家が壊れかけている。家の近くに生まれた女性2人が北里大学にどうにかならないかと手紙を出しているが、町長はどう思うか。

【町長】 南小国町の高橋町長と相談しながら一緒に取り組めるものがあれば進めたい。

【穴見】博士が8歳の時から2年間住んでいた志ヶ瀬の家が、光る縁側の原点となっている。良い方向になるように願っている。

【町長】 今年の農業は水不足、台風やウシ力で大変であった。これからの農業の二番の課題は何か。

【産業課長】 農業と言うのは自然相手であり、農業従事者の高齢化により担い手不足が二番の課題である。担い手をいかに確保していくか、所得向上や労働力の負担軽減につながるような対策に取り組みたい。

【町長】 中山間二区切りで高齢者がほかに委託する集団化は出来ないか。

【産業課長】 農地を地域で守っていく集約化は必要である。効率的な農業運営・経営をして行くことは大事である。



ゆうステーション周辺 整備の行方

熊谷 博行

園近頃頻繁に目にかかる小学校児童の全国大会出場の横断幕。私としては大変嬉しい。横断幕の右下を見れば決まって有志や保護者会の名前ばかり。たまには小国町や教育委員会の名前も欲しい。また、保護者に聞いてみたら助成金は町から全く出ていないと聞いた。今後この体制で行くのか。

【教育委員会事務局長】小学校の部活が社会体育に移行されたことで、部活動と社会体育に対して平等性も考慮し検討する。

【熊谷】社会体育・部活動関係ないと思う。小国は小中一貫。内部ですっかり検討してもらいたい。

園只今建設中のゆうステーション周辺工事について、選挙前までは特別委員会が設置され、いろいろな情報も把握できたが、選挙後特別委員会は解散したのか報告もない状態。町民からの意見もあるが、各議員同じ考えではないかと思う。実際のところ完成・竣工・供用開始はいつか。

【情報課長】来年2月の完成。完



ゆうステーション東屋

成イベントを内部で検討している。園11月頃に突然完成した長方形の東屋は、以前の特別委員会の説明にはなかった。突然現れると町民に説明できない。憶測で説明すれば後が大変だし、何も知らないでは笑われる。そんな状態では困るので、今後の進展の報告を願う。

【情報課長】誠に申し訳ない。今後いろいろな場面で相談したいと思う。今回の事を肝に銘じ邁進して行く。



デュアルライフ（二域居住） と6次産業

松本 明雄

園移住定住の取り組みも大きなことだが、交通アクセスなどの面からなかなか伸び悩んでいると思われる。そこで二つの地域に拠点を持ち生活するライフスタイル、
※デュアルライフへの取り組みはどうかと考える。東京などの大都市とはいかずとも、福岡や九州各県からは実現可能ではないか。

※デュアルライフとは、都市と農村が双方向で行きかうライフスタイルのこと

【政策課長】移住希望者が少し減ってきているようだ。課題もあるうかと思うが、移住政策の一つの考えとして、整理しながら今後の動向を注視していきたい。

園6次産業化にもう少し力を入れるべきではないか。米・野菜・牛乳と小国町には良いものが沢山あるので、それに付加価値をつけて売り出していければと考える。一人ではどうしても固定観念にとらわれてしまいがち。ワインで言えば「ドメーヌ」という方法がある。小国町なら酒米から酒まで、地元



でしか出来ない最高のものをみんなで作っていければと思う。長崎では米粉で離乳食、北九州ではミカン農家がぶどうでワイン、泗水ではお茶屋さんでドライフルーツを作っている。皆で考えを共有しながら頑張っていかなければと思う。そこで町の協力を得たい。

【産業課長】農家の方たち、またその関係機関の方たちと連携しながらやっていきたい。

令和元年度小国町議会議員研修報告書

目 的 2024年に小国町出身の北里柴三郎博士が新千円札の肖像になるにあたって、現千円札の肖像である野口英世の生地を訪ね、どのように町おこしにつなげているのかを知る。また柴三郎博士と同時に新一万円札の肖像となる渋沢栄一の生地を訪ね、どのような展開を計画しているのか小国の参考にしたい。北里大学研究所では博士の実績、それが大学でどのように評価され広報されているのかを知る。

日 程 令和元年10月3日(木)～10月5日(土)

場 所 ・野口英世記念館 福島県耶麻郡猪苗代町大字三ツ和字前田81番地
・渋沢栄一記念館 埼玉県深谷市下手計1204番地
・北里研究所 東京都港区白金5丁目9番1号

参加者 小国町議会議員10名及び渡邊町長、議会事務局朝日係長



野口記念館研修



渋沢栄一記念館研修



北里研究所研修

◆良かった点

- ・5年後北里柴三郎博士が新千円札の肖像になるにあたり、現在の肖像である野口英世の記念館を訪れることで、この機会を小国でどのように生かすかのイメージを各議員が描くことが出来たのではないかと。
- ・柴三郎博士と同時に新一万円札の肖像になる渋沢栄一ゆかりの地を訪ね、その人となりを理解できた。記念館だけでなく周囲に複数の関連施設があることで、訪れる人が何時間も過ごすことが出来、学習面のみならず観光面でもメリットがあるだろうと思われた。これは北里柴三郎記念館を中心とした学習・観光面の訪問客誘致の今後の参考になると思えた。
- ・北里柴三郎博士が学祖となった北里大学を訪れることで、小国だけでは知る事の出来ないその功績や評価もより深く知ることが出来た。

◆反省点

- ・研修旅行に出発する前に資料等配布され、各自で読む機会があったが、全員集合して旅行の目的・現地での質疑応答など検討しておくべきであった。
- ・移動に時間がかかり過ぎ、目的地での時間が余りにも短すぎた。出来るだけ多くの関係者の声を聞きたかったが、展示を見て回ることで時間が無くなってしまい、質疑応答の時間がほとんど取れなかったことが残念だった。本来であれば地元の教育委員会、観光課や観光協会にも話を聞きたかった。
- ・コースや日程・見学地などについて旅行会社任せにせず、今後議員自らがまず目的や方法についてしっかり検討・計画を立てることが必要である。そうすれば理解も一層深まるであろうと思われる。

議員の研修と意見交換会の開催

議員の質の向上やそれぞれの役割を果たすために研修会に参加したり、町内の様々な団体と意見交換会を行ったりしている。

◆小国町農業委員会との意見交換会

10月25日(金)に木魂館で、小国町農業委員会より委員会制度や活動等が報告され、意見交換を行った。(全員)

◆阿蘇市町村議会議員研修及びスポーツ大会

10月29日(火)に産山村山鹿体育館で、熊本大学人文社会科学部研究部の伊藤洋典教授より講義を受けた後、会場をうぶやま牧場に移しパークゴルフで交流を図った。(松崎、穴見、久野、児玉、西田、熊谷)

◆議長・副議長・議会事務局長研修

11月7日(木)から8日(金)にかけて宮崎市で、宮崎県総合農業試験場の概要と都市のふるさと納税の取り組みについて学んだ。(松崎)

◆阿蘇郡町村議長会総会及び第63回町村議会議長全国大会等及び県関係国会議員への要望・意見交換会

11月12日(火)に東京都NHKホールにて、住民自治に基づく個性と活力に満ちた町村の実現を期する目的で意見交換会等が行われた。(松崎)

◆新過疎法制度実現総決起大会

11月15日(金)から16日(土)にかけて東京都メルパルクホールで、役員の選任、制度制定に関する決議、要望活動方法等について学んだ。(松崎)

◆町村議会広報クリニック

11月21日(木)に熊本県町村自治会館で、熊本日新聞社NIE専門委員の越地真一郎氏より議会広報作成について学んだ。(久野、児玉)

編集後記

令和2年を迎えました。皆さま今年はどういう新年を迎えられましたか。議会だよりも新メンバーになって3回目の発行です。今年はより充実した内容にし、議会の様子や課題の進捗状況をより詳しくお伝えできればと、委員一同張り切っております。ご要望やご提案などいつでも大歓迎です。皆さまの声をお待ちしております。

(西田)

【発行責任者】	松崎 俊一
【広報委員会】	西田 直美
委員長	江藤 理一郎
副委員長	久野 達也
委員	児玉 智博



議会を傍聴してみませんか

議員は議会でどんな発言をしているの？
どんなまちづくりを考えているの？
議会に来てあなた自身でご覧ください！

傍聴に
来ることは
大切だ。



橋本 克征 さん(上田)

町の問題は行政や議員任せにしないで、私達町民ももっと参加すべきだと思う。傍聴に来れば、議場の雰囲気も分かるし、自分も町政に参加することが大切だと思える。これから出来るだけ傍聴に来たいと思っている。

※次の定例会は3月です。日程は広報おぐにやおぐちゃんでお知らせします。

表紙について

2018年2月の前原一本桜です。近年雪が少なく気候変動の影響かと言われています。小国町も気候非常事態宣言の準備を進めています。また写真のような美しい雪景色を見たいものですね。